

目黒区議に対する質問 最終報告書

別紙 4 添付報告書

2021 年 9 月 3 日

東京校民防衛隊長

#report 21.06.19 目黒区議会議員への一斉架電（かいでん和弘宛） ID: [REDACTED] 【承認】

◆取材先◆

- ・氏名 … かいでん和弘
- ・会派 … 新風めぐろ（幹事長）
- ・電話番号 … 090-3145-1156
- ・文教委員会 … 委員

◆取材時刻◆

- ・2021年6月19日(土) 12時27分

◆時系列◆

- ・6/19-12:27 取材に応じた。

◆質問に対する回答◆

□噂を流しているのはあなたか
その噂を聞いていない

□九中事件をどう受け止めているか
警察がそう判断したということなので、警察に委ねている。

□議会における九中事件への見解統一について
そのような話は聞いていない。

□高橋秀一の勤続に関する見解
それは目黒区でどうできる問題ではない。教職員人事は都の管轄。東京都の判断だと思っている。

□高橋秀一の追放・処分に関する考え
「区議会全体で」という話は、そういう動きはないので、そういうところはない。
私自身も、警察がそのように判断し、東京都が人事上しなかったということなので、そちらの2機関の判断だと思う。

◆当該による逆質問◆

なし

◆当該による苦情◆

なし

◆その他・備考◆

なし

#report 21.06.19 目黒区議会議員への一斉架電（岸大介宛） ID: [REDACTED] 【承認】

◆取材先◆

- ・氏名 … 岸 大介
- ・会派 … 無会派（無所属）
- ・電話番号 … 090-3360-3286
- ・文教委員会 … なし

◆取材時刻◆

- ・2021年6月19日(土) 13時10分

◆時系列◆

- ・6/19-13:10 不通。
- ・6/19-20:35 折り返し入電も、取材拒否。

◆取材の拒否◆

本職が本題に入ろうとしたところ、岸区議は「アンケート関係は個別にはお返ししていない」と発言。本職は「目黒区議会で私たちが過激派ではないかとの噂が流れているというお話についてだったんですけども…」と伝えた。ここで岸区議は「そうなんですか、知らないですけど」と返答。本職がこれに続け、「答えないということは、それはあなたなんですね」と伝えると、岸区議はキレ気味に「え？」と返答。本職はこのまま電話を切った。

◆取材先◆

- ・氏名 … たぞえ 麻友
- ・会派 … 無会派（都民ファーストの会）
- ・電話番号 … 050-5473-2018
- ・文教委員会 … なし

◆取材時刻◆

- ・2021年6月19日(土) 14時27分

◆取材の応否◆

- ・6/19-14:27 不通。
- ・6/19-14:51 折り返し入電。

◆質問に対する回答◆

□噂を流しているのはあなたか
いいえ。その噂を聞いていない。

□噂は誰が流しているのか
その噂を聞いたことがない。

□九中事件をどう受け止めているか
（質問しないまま電話終了）

□議会における九中事件への見解統一について
（質問しないまま電話終了）

□高橋秀一の勤続に関する見解
（質問しないまま電話終了）

□高橋秀一の追放・処分に関する考え
（質問しないまま電話終了）

◆当該による逆質問・苦情◆

- 九中事件について教えて頂きたい。何があった？
- （特設ページを要約して目黒九中事件について説明）
- 現在は拘束が解けているのは何故？

●法令上、21日を超えて警察署内に勾留することはできないからじゃないですかね。

○その後、起訴されるとかは…

●不起訴処分にはなったものの、検察は処分理由を明かしていない。

○なぜ区議会や議員に言っているのか。これについては警察が動いているというのだから警察の所管。なのでこちらに何か言ってもらっても調査するものではないし、口をはさむものではない。なぜ区議会に話した？何かしてほしいことがあるなら聞く。

★この事件に関し、確かに警察が介入し司法案件となったが、不起訴処分という形で司法としては一応の決着を見ている。目黒区議会においては、区立学校で発生した事案なわけであるから、区議会議員は区の代表として何らかの動きをしなくてはならないと考えている。区議会としてどのような対応が行われ、どう動いたのか。そしてたぞえ議員自身がこの問題に関しどのような対応を取られたのか。こういうことについての「質問」である。何をしてほしいかと言えば、高橋秀一の懲戒免職処分を都教委に求めているが、区議会として都教委に対し、このような人物を引き続き目黒九中の副校長にしてよいのかということについてしっかりと考えて頂き、都教委に何らかの働きをすべきではないか。今回の電話の趣旨は、「日本自治委員会が革マル派ではないか」という趣旨の話がなされていること。そして、区議会で九中事件に関し、どのような対応がとられているか。その事実確認の調査。相談・要請ではない。

●九中事件に関し、どのように受け止めているか、どのような対応を取っているか改めて聞きたい。

○区議の方に、特段そのような報告がないので、議論する場がない。「何か動くべきじゃないか」とのことだが、その事実をこの場で聞いたので…その高校生はお知り合いなんですよ？

●我々日本自治委員会の活動員です。そもそも。なので同じ組織の人間。

○その活動員が「直接話を聞いてくれ」というなら聞くが、調査権というものはない。教育委員会に対し、「どういうことがあったのか」というのを聞いて、それをまとめて、何かするべきなのかというのを議論する場を…ということがあるかもしれないが、今この電話を頂いたからと言って、そういう事実があったのかということは九中や教委に確認しないと。すごく熱心に電話を頂くから話を聞いているが、過去に色んな相談を頂いているが、一方の話を聞くというのはすごく危険で、九中の校長は何を思って何をしたのか、ということを知らないと、それは行動を起こせない。だから「何をしてほしい」というのは、議論をしてほしいんだったら、議論の場を設けるように動くが、「私がどう思うか」ではない。私は区から何かの報告が上がってきたり、そういう事実があったら、「取り上げるのか」というのを私が決めるわけじゃない。だから、「こういうようにしてほしい」というふうに言っていて、議会が「そうだね」となったら動いていくが、「あなた行動起こさないんですか？」って言われても、私がそもそもあなたがたの活動も存じ上げていないし、そういう事件があったことも「こういうことが起きてるよ」ということは聞いたことはあるが詳細に聞いたことはないので、そもそも「知らない」というのが私。

★今「知らない」とおっしゃられていたが、私どもが把握している限り、議運にメンバーを出している会派の方は教育委員会から説明の機会があった。

○だって私無会派だもの。（タメ口）

★無会派だから、報告を受けていないということ？

○受けていない。

★そうですか分かりました。だとしたらこっちの話だけ聞いて判断…

○（話を遮り）議会で話が出たなら、いつ何日出たのか言っていただければ議事録見る。

★九中事件に関しては、日本自治委員会の担当者から、事件当日に共産党に連絡が入っており、共産党の方で調べていたし、その後立憲民主党等が教育委員会から早々に話を聞いた。具体的な日取りは把握していないが、少なくとも事件が発生した 2020 年 7 月 8 日からほぼ当日、翌日に教育委員会に問い合わせがあったり、教育委員会から報告があったというふうに承知している。議会内の動きについては存じ上げない。

○共産と立憲が動いたということであってます？

★共産と立憲が何らかの動きをしたというのは承知している。

○いいんじゃないですか？それは

★とにかくたぞえ議員がご存じ…

○（話を遮り）全部の議員が同じ問題に同じように動くことはない。それぞれ得意分野もあるし関心事も違う。それでも共産党が「この件について話し合いをやっていくべきだろう」と言っているところと、今に掛け合ってくれたら、「そうだね話し合おうね」ということになるかもしれないが、今のところは区議会内で話し合おうという機運にはなっていない。

★そうですか。我々が確認したいのはそういうところ。区議会が動いていないというのは我々も十分承知をしている。あくまで各区議会議員に対して直接東京事務所まで架電しているし、どういう受け止めをしているのか、そして田添さんがおっしゃった言うに、情報をご存じない方もいると思うので、ご存じない方はそうなんだろうと。全員に対して事実関係の調査をしている。基本的にさっきも言ったとおり、相談や要請ではないので、「ご存じない」という事実が確認できただけで十分。それで、ご関心等があるのなら教委や九中校長や他の議員に問い合わせるなり、たぞえ議員の関心に沿った形で処理して頂ければ。あくまでこれは事実関係の調査であり、区議会議員全員に対して伺っている。

○最近個別に聞かれることが多くて、今仕事量がすごい。コロナのワクチンや低空飛行の件など、皆さん外出が難しいとなると、鬱々としているのは分かるけど、本当に区議会議員に連絡したことのないような人がどんどん連絡してくる。最近「個別に言った方がいいのでは」という風潮があるのかもしれないが、基本的に議会としての陳情を上げて頂けるのだったら、そこで議論をすることができるので、陳情を上げていくのが…。

★それは議論をしていただくためのプロセスであって、我々は事実関係の調査をしている。各議員がどう考えているのか、どう動いているのか、はたまたその事実に関して認識をされているのかいないのか、あくまでその部分について事実関係を確認させていただいてるだけなので。陳情に関しては、ほかの無会派の議員らも意見があったし、それもそれで別の部局が考えていることだと思う。

○わかりました。これでいいですね。

★結構です。ご協力ありがとうございました。

○一個いいですか？さっき私が「録音してますか？」って聞いて、録音しててもしてなくてもいいが、他に人がいるなら最初に自己紹介してほしい。

●はあ。

○だって、いきなり変わられて「人いたんだ」って。役割がそれぞれあるんだったら、「そういう話だったらそちらの方に代わっていただけますか」という対応もできる。何で議員が対面が好きかというと、

電話だと顔が見えないし、いったいどういう状況で、例えば他にすごい人数が聴いていて、公開討論会とかになっていたら、話せる内容も変わってくる。なので、先にそちらの状況というのはお伝えいただいた方がいい。今、私は人のいないところをわざわざ選んでいる。

★こちらとしては、わざわざ皆さんにお伺いするために、管理職の私と■が対応しているが、基本的には■単体で対応している。

○今日は2名でご対応いただいて、私の発言も会派の中で共有されて、なんか次のアクションにつなげていくという？

★そうですね。我々としても東京事務所の方で報告書を作成させ、上に報告させ、上の方でしっかりと検討がなされて対応されるものだと考えている。いじょうでよろしいでしょうか。

○こちらは結構です。

※■。

◆取材先◆

- ・氏名 … 岩崎 ふみひろ
- ・会派 … 日本共産党（幹事長）
- ・電話番号 … 080-3424-1200
- ・文教委員会 … なし

◆取材時刻◆

- ・2021年6月19日(土) 14時42分

◆取材の応否◆

- ・6/19-14:42 取材に応じた。

◆質問に対する回答◆

□噂を流しているのはあなたか

そんな噂があるんですか。違います。

□噂は誰が流しているのか

私は何も知らない。

□九中事件をどう受け止めているか

副校長のやったことは明らかにやりすぎ。

教育委員会に対し、事実確認を行った。

□議会における九中事件への見解統一について

見解統一は一部でそういうことがあったという話を聞いているが、私はそういうことは分からない。

具体的なことは把握していない。

□高橋秀一の勤続に関する見解 ※要録音聴取

さっき言ったように、副校長の対応には行き過ぎた面があったと思っている。副校長という職務に相応しいかと言われれば、相応しくない部分もあった。

（いまだに勤務を続けていることは？）教育委員会の人事などで…私は詳しく申し上げられないが彼の行動については行き過ぎた面があったと思う。

□高橋秀一の追放・処分に関する考え

懲戒免職は特に求めている考えはない。

目黒区外の異動についても、特にこれといったコメントすることはない。

◆当該による逆質問◆

なし。

◆当該による苦情◆

なし。

◆その他・備考◆

なし。

◆概要◆

偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。

◆備考◆

- ・本職は「[REDACTED]」の名義においてこの区議訪問を行った。

・ [REDACTED]

。

- ・本職はインターホンを押す際、「日本自治委員会の [REDACTED] です。〇〇区議さんいらっしゃいますか？」と発言した。

◆訪問した区議および結果◆

- ・川端しんじ区議(無会派・NHK 党) - 応答なし
- ・西村ちほ区議(自由民主党)/栗山不動産企画 - 応答なし
- ・西村ちほ区議実家/西村文生堂書店 - 店長が「いない」と返答
- ・宮澤宏行区議(自由民主党) - 別人が応答(露骨な居留守?)
- ・吉野正人区議(自由民主党) - 応答なし
- ・武藤まさひろ区議(公明党) - 応答なし(ガサゴソ音がした)
- ・梅田まさみ区議(目黒フォーラム) - 号室不明のため訪問できず

◆時系列◆

- ・16:48 川端区議の自宅前着。区議会議員開始。
- ・16:51 川端しんじ区議(無会派・NHK 党)が不在。
- ・16:52 大須賀太一議長から突然入電があり、[REDACTED] について色々聞かれたので対応した。本職が伝えることを伝えた後も大須賀議長は電話をつなげっぱなしにしてきて、本職が電源を切ってもいいかどうか聞いても無視してきたため、本職は電話をつけっぱなしにし、区議訪問を中断して一応待機した。

・この際、本職は大須賀議長に対し、ついでに「区議訪問は、いくつかの住宅で禁止の貼り紙が貼られている、勧誘・セールス行為と見なされる可能性を憂慮している」ということについて見解を伺ったところ、大須賀議長は「区議会議員は公人なので市民がこれを好きに訪問することは合法だ」と返答してきた。本職はこれ以降、この見解に従い、「セールス・勧誘お断り」や「関係者以外立入禁止」の貼り紙の有無に関わらずすべての区議を訪問することとした。

- ・17:02 [REDACTED]

[REDACTED] 大須賀議長が突然電話を切ってきた。

- ・17:04 大須賀議長の架電により時間差ができたため、再び川端区議を訪問するも、2度目の不在。

- ・ 17:29 西村ちは区議(自由民主党)は不在。なお、同事務所は「栗山不動産企画」と共用している。
- ・ 17:55 西村文生堂書店(西村区議の実家が経営している書店)を訪問し、西村区議がいるかどうかを店長の高年男性に聞いたところ、「いない」と完全に否定。完全に関係を否定するような物言いは逆に不自然と考えたが、静かで小さな書店だったこともあり、本職は威力業務妨害にならないよう同店から引き下がった。
- ・ 18:22 宮澤宏行区議(自由民主党)宅を訪問。高齢女性が出てきて、同女性は「宮澤区議はいない」と話してきた。同女性は警戒した様子で「日本自治委員会とは何なのか」といった質問をしてきたため、「子どもの権利を守る団体」とした上で、「勧誘目的で来たわけではない」と断りを入れた上で、あくまで活動紹介の参考としてチラシ「自治委員会って何だ!？」を渡した。
 - ・ 同女性を取ってつけたように「宮澤区議は不在」と回答したり、最後に同女性と宮澤区議の間柄について聞いたとき、「今火を使っているから」という合理性に欠ける理由で回答を拒否し、家の中に戻ったり、私をブロックアウトしようとしているように思えた。
 - ・ [REDACTED]、[REDACTED]。
- ・ 18:43 吉野正人区議(新風めぐろ・無所属)宅に行くも不在。
 - ・ 吉野区議の家には表札がなく、外部から見たら空き家にも見えた。
- ・ 18:58 武藤まさひろ区議(公明党)宅に行くも不在。
 - ・ 本職がインターホンを押して名乗った際、武藤宅の内部からガサゴソ音がした。
- ・ 19:17 梅田まさみ区議(目黒フォーラム)宅に行くも、区議会公式 HP や Facebook に掲載されている広報誌記載の住所(目黒区柿の木坂 2-20-22)は「シャルマン柿の木坂」という集合住宅であった(区議会公式 HP にも Facebook 広報誌記載にも具体的な号室が掲載されておらず)。ポストにも部屋の扉の前にも表札が書かれていなかったため、本職は梅田区議の具体的な号室を特定できず、未処理のまま場を離れることとした。
- ・ 19:23 撤収。

#report 21.08.01 KDF 目黒区議訪問 第2回 ID: [REDACTED] 【承認】

◆概要◆

偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。

◆備考◆

・本職は「[REDACTED]」の名義においてこの区議訪問を行った。

・ [REDACTED]

。

・本職はインターホンを押す際、「日本自治委員会の [REDACTED] です。〇〇区議さんいらっしゃいますか？」と発言した。

・居留守を使っている可能性の高い区議に対しては、[REDACTED] こととしたが、その際は必ず公道上に出ることとした。

◆訪問した区議および結果◆

- ①芋川ゆうき区議(日本共産党, 自宅[戸]) - 回答に応じた
- ②田島けんじ区議(自由民主党, 自宅[集]) - 不在
- ③山宮きよたか区議(公明党, 自宅[集]) - 不在
- ④松嶋祐一郎区議(日本共産党, 事務所) - 不在(事務所は営業しており事務員はいた)
- ⑤松田哲也区議(維新・無会派, 自宅[集]) - 不在
- ⑥梅田まさみ区議(フォーラム目黒, 自宅[集]) - 不在
- ⑦武藤まさひろ区議(公明党, 自宅[戸]) - 口頭での回答拒否(紙面で質問状を送るよう求めたため東京事務所に移管)
- ⑧吉野正人区議(無・新風めぐろ, 自宅[戸]) - 不在
- ⑨宮澤宏行区議(自由民主党, 自宅兼事務所) - 不在
- ⑩西村ちほ区議(自由民主党, 栗山不動産企画) - 不在(事務所の不動産屋が休業日)
- ⑪川端しんじ区議(NHK 党・無会派, 自宅[集]) - 不在

◆判明した区議の号室◆

集合住宅に住んでいる区議の中には、区議会公式 HP や自作の広報紙に号室を掲載していないことがある。今回、。

なお、松田哲也区議、川端しんじ区議に関しては、もともと部屋番号が公開されているため割愛。

□号室が判明した区議

- ・田島けんじ区議 - 平町 2-16-4 サンコート平町 101 号室
- ・山宮きよたか区議 - 中根 2-5-7 マンション都立大 1001 号室

□判明しなかった区議

- ・梅田まさみ区議 - 柿の木坂 2-20-22 シャルマン柿の木坂

◆時系列◆

- ・8:13 芋川ゆうき事務所宅を訪問。表札「松尾」「SACHIKO」という表札を見かけた。この2つの表札は、別の場所に配置され、フォントも配色も全く別の表札であり、同一人物の姓名とは限らない。
- ・8:47 田島けんじ区議は応答しなかったが、部屋の中で音を聞き取っていた。

- ・11:08 頃

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

◆各区議の反応◆

□芋川ゆうき区議(日本共産党, 自宅[戸])

- ・訪問時刻：8時13分
- ・回答に応じた。今回の訪問において口頭での回答に応じた唯一の例。
- ・革マル派発言については「知らない」に極めて近い否定を行った。九中事件に対する見解を求めた際には、「我々は組織でやってるので、区議団幹事長に質問状を出す形で聞いてほしい」のような対応をとってきた。

□田島けんじ区議(自由民主党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：8時45分頃
- ・インターホンを押したが応答せず。しかし内部から物音がしたため、居留守を使っている可能性があると考えた。
- ・8:52 公道まで戻り、拡声器で「田島先生いないんですか」「またこさせていただきますね」と2ループ話し、その後立ち去った。
- ・103号室のOM (と徳永警部の顔を足して2で割ってそのまま70代にしたような顔) が様子をうかがいに来た

□山宮きよたか区議(公明党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：9時40分
- ・インターホンを鳴らすも不在だった。

□松嶋祐一郎区議(日本共産党, 事務所)

・訪問時刻：12 時 01 分

・事務員の高齢女性 3 名が事務所内で昼食をとっており、気の抜けた雰囲気であることはすぐに分かった。

・同女性に対し、松嶋区議がいるかどうか聞いたところ、同女性は松嶋区議が不在である旨伝えてきた。同女性に対し、松嶋区議がいつ事務所に戻ってくるのか尋ねたら、「今日は戻らない」と話してきた。

・本職は同女性に対し、「松嶋区議は外回りに行っているのか」と聞いたが、同女性は「そういうことではないが色々用事がある」と返答するのみだった。

・同女性は活動員 ID カード記載の本職の氏名を「[REDACTED]」と読んでいたので、本職はこれを訂正した上で「[REDACTED]」と嫌味を言って帰った。

□松田哲也区議(維新・無会派, 自宅[集])

・訪問時刻：13 時 12 分

・物音が聞こえたため(方角は不明だが)、2 分間待ったが、松田区議が現れることはなかったのでそのまま立ち去った。

□梅田まさみ区議(フォーラム目黒, 自宅[集])

・訪問時刻：13 時 19 分

・梅田区議の部屋番号が特定できないので、シャルマン柿の木坂の 2 部屋両方とも訪問した。但し、訪問時のインターホン前での声掛けにおいて、区議の自宅であることを断定した口調は使わなかった。結果は、2 部屋とも不在だった。

□武藤まさひろ区議(公明党, 自宅[戸])

・訪問時刻：14 時 05 分

・インターホン越しに質問の趣旨を聞き出してきた（あまり対応したくなさそうな口調だった）

・その後渋々出てきた

・その後、武藤はメールで質問を送ってきてくるよう要求

・こちらは「口頭でお願いしたい」という強い意志を伝えたが、あくまでメールにこだわる様子だったので、少々お待ちください、東京事務所に電話

・東京事務所の回答によると「これは東京校民防衛隊の所管事項なので、できれば KDF 内で話を完結させてほしい。ただし先方が譲らないなら東京事務所がメールすることもできると伝えるように」とのことだった。

・交渉を続けるも、武藤は「メールでなければ回答はちょっと…」と言ってきたので、事実上の口頭にて回答することの拒否と判断

・このため、東京事務所からメールアドレスを送ることを伝え、こちらで控えているメールアドレスと先方の使っているものが一致するかどうか確認を取り、引き払った

□吉野正人区議(無・新風めぐろ, 自宅[戸])

- ・訪問時刻：14 時 27 分
- ・インターホンを押すも無反応。
- ・表札は、前日は暗闇で見えなかっただけで、奥まった位置にあった。
- ・洗濯物が干されており、空き家ということはまずないという感じであった。

□宮澤宏行区議(自由民主党, 自宅兼事務所)

- ・訪問時刻：14 時 51 分
- ・外観は人の住む古風な一軒家(土地はかなり広い)だが、政治家の事務所であることをことさらに強調するかなのようなポスターの貼り方をしており、玄関後方にも広報または選挙対策用と思われる。
 - ・また、表札「宮沢信男」を発見。玄関前の側面にある扉が「株式会社宮澤工務店」兼「宮澤宏行事務所」であることを発見。

□西村ちほ区議(自由民主党, 栗山不動産企画)

- ・15:25 西村ちは事務所に到着するも、次の理由から訪問できなかった。
 - ・自由が丘オークヒル(栗山よしじ氏が経営しているマンション)内に事務所のポストがあるが、具体的な号室が書かれていない
 - ・自由が丘オークヒルは管理人室を通さないと中に入れないが、管理人は不在であり、管理人を呼び出すためと思われるインターホンもガムテープで塞がれていた。
 - ・自由が丘オークヒルの隣に位置する栗山不動産は、西村ちほ区議の事務所であることが明示されていたが、栗山不動産は昨日同様営業しておらず、誰一人いなかった。
- ・15:28、■■■■■隊長の指示により、大須賀太一議長に対し、西村文生堂まで行くことについて指示を仰いだ。大須賀議長からの返信がないため、本職は隊長の指示を受け、次の場所に向かった。

□川端しんじ区議(NHK 党・無会派, 自宅[集])

- ・15:52 インターホンを押して不在だったが、物音が聞こえたため 2 分間程度待機した。しかし、物音が段々大きくなってきた際、若干遠くのものであるというように感じられたので、川端区議の部屋から発せられたものではないと判断し、立ち去った。

#report 21.08.02 KDF 目黒区議訪問 第3回 ID: [REDACTED] 【承認】

◆概要◆

偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。

◆訪問した区議および結果◆

- ①青木英太区議(無所属・新風めぐろ, 自宅[戸]兼"青木英語塾") - 不在(叔父が出現)
- ②小林かなこ区議(自由民主党, 自宅[集]) - 不在
- ③関けんいち区議(公明党, 自宅[戸]) - 不在
- ④河野陽子区議(自由民主党, 自宅[集]) - 不在
- ⑤佐藤昇区議(自由民主党, "佐藤酒店") - 不在
- ⑥いいじま和代区議(公明党, 自宅[集]) - 不在
- ⑦佐藤ゆたか区議(公明党, 自宅[集]) - 不在

◆備考◆

- ・今回の区議訪問でインターホンを鳴らした際、本職は「こんにちは～、日本自治委員会の、[REDACTED]です！〇〇党の△△先生、いますか～？（エア本倉地のパロディ）」と声を掛けた。

◆人名表記について◆

目黒区議会に複数の同姓がいる人物は、下の名前で表記する。（例：佐藤昇区議⇒昇区議）

◆各区議の反応◆

□青木英太区議(無所属・新風めぐろ, 自宅[戸]兼"青木英語塾")

- ・訪問時刻：12時19分
- ・結果：不在(叔父が出現)

●内容

- ・青木家にはインターホンが存在しなかった。このため、本職は数分間インターホンを探し回ったが、最終的に青木英語塾の扉をノックすることとした。
- ・12:24頃 PO(若い女性)が、青木宅のある道路を往復していた。
- ・12:27 英太区議の叔父を自称する高齢男性・青木 [REDACTED] 氏(漢字は聞き出してない為不明)が、青木宅右手の扉から出てきた。
 - ・ [REDACTED] 氏は、本職が青木英語塾の扉をノックし、大きめの声で声をかけたときに出てきた。
 - ・ [REDACTED] 氏は、公人である英二区長と英太区議とは対照的に、シアン色のタンクトップに膝丈のハーフパンツをし、カップヌードルのカレー味を乗せたお盆をもって外に出ていたり、非常にラフな恰好であった。
 - ・ [REDACTED] 氏は、「自分は青木きょうだいの2番目。姉と弟がいて、弟は英二」と話してきた。これに対し、本職は「だとしたらあなたは英太さんの叔父様なのか」と聞いたら、 [REDACTED] 氏は「その通り」旨返答してきた。

- ・ 氏曰く、英太区議はこの自宅兼事務所には時々しか来ないとのことであった。
- ・ 氏は本職から用件を引き出したり、英太区議とのアポイントメントの仲介を行おうとしてきたが、本職は「用件について本人以外に話すのは上席の許可が必要」「組織でやっているの、上席の決定がないと難しい」としてこれをやんわり断った。なお、氏は本職の去り際、本職に対して「再度訪問することはあるのか」旨聞いてきたので、本職は「それも今後上席が決めることになる」として回答を濁した。
- ・ 氏は、本職に対する仲介の提案を何度も繰り返したり、本職の発言をほとんど理解せずに話を続けたり、発言の文がまとまっていなかったりした。

□小林かなこ区議(自由民主党, 自宅[集])

- ・ 訪問時刻：13 時 19 分
- ・ 結果：不在

●内容

- ・ 2 度インターホンを押しても出なかったため、不在と判断し撤収。

□関けんいち区議(公明党, 自宅[戸])

- ・ 訪問時刻：13 時 48 分
- ・ 結果：不在

●内容

- ・ 2 回インターホン押したが出なかったため不在と判断。

□河野陽子区議(自由民主党, 自宅[集])

- ・ 訪問時刻：13 時 59 分
- ・ 結果：不在

●内容

- ・ 2 度インターホン押しても応答しなかったため撤収。

□佐藤昇区議(自由民主党, "佐藤酒店")

- ・ 訪問時刻：14 時 30 分
- ・ 結果：不在

●内容

- ・ 昇区議の母親が出てきて、「昇は区役所まで行っている」と話してきた。
- ・ これを受け、本職は全ての区議を巡回した後に目黒区総合庁舎の議員控室に行った。この際、昇区議は「議員控室に滞在していたようだが本職が来た時には既に帰っていた」（鍵括弧内は事務局員の発言による）。

□いいじま和代区議(公明党, 自宅[集])

- ・ 訪問時刻：14 時 41 分

・結果：不在

●内容

・本職は、本職らがマンションのエントランスに入ったとき、いいじま区議が部屋の中に入っていくのを現認している。

・鍵付きマンションなので、エントランスのインターホンからいいじま区議の部屋に繋ぎ、出てきてもらうよう要請した。

・この際、インターホン越しに出てきた女性は「飯島はいない、いつ戻ってくるかわからない」と話してきた。これを受け、本職はいいじま区議が居留守を使っていると判断した。

・これを受け、本職は敷地外に出た後、

と発言し、マンションから立ち去った。

□佐藤ゆたか区議(公明党, 自宅[集])

・訪問時刻：15 時 38 分

・結果：不在

●内容

・2 度インターホンを押して話しかけるも反応がなかったため撤収。

◆目黒区総合庁舎議員控室凸◆

昇区議の母親が「昇は区役所に行っている」と話していたのを受け、本職らは全ての区議を訪問した後、目黒区総合庁舎 5 階に所在する目黒区議会議員控室を訪問した。訪問した時刻は 16 時 45 分頃。

本来は昇区議を訪問する予定であったが、昇区議が不在だったため、本職は控室内にいる区議会議員に対し、事務局室を通じて片っ端からアポを取ることにした。（但し橋本区議は除く）

しかし、事務局の担当者によると、斉藤区議を除くすべての区議が「不在」であり、斉藤区議は手が塞がっているとのことであった（自民党にいたっては、4 人の区議が控室にいる扱いなのに、担当者にいると『全員席を外している』とのことであった）。本職は、事務局担当者によるこの発言の真偽を確かめるため、アポなしで各会派の控室を訪問した。

□控室訪問結果

●自由民主党

中年女性事務局員が出てきたのみで、室内は消灯しておりもぬけの殻であった。同事務局員によると、「本当は帰ってたけど退庁処理をし忘れていた」とのことであったが、これが事務局員が自民党区議を庇うための嘘なのか、単にいい加減な退庁処理業務を行っていただけなのかは不明。

また、目黒フォーラム控室はスルーした。

●公明党

控室をノックしても誰も出てこず、物音一つしなかった。

●日本共産党

斉藤優子区議がいたものの、斉藤区議は電話中であった。

斉藤区議は本職の顔を見るや否や、目をギョロッとさせて扉を締めてきた。

●フォーラム目黒

スルーし、ノックしなかった。

◆その他◆

・13:09 星見てい子事務所を見たら閉まっていた。なお、星見氏は元職の都議のため、今回の訪問の対象外である。

・14:03~14:13 にわかに強い雨が降ったため、一時的に雨宿りした。雨は 10 分程度しか続かなかったが、その間に水たまりができるほどの雨であった。

・15:04 移動中、たぞえ麻友区議の自宅前を通過。[REDACTED] 自宅前の写真を何点か撮って送信した（たぞえ区議は居住実態が疑問視されていたため）。

◆概要◆

偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。

◆訪問した区議および結果◆

- ①青木英太区議(新風めぐろ[無所属], 自宅[戸]兼"青木英語塾") - 不在(叔父が出現)
- ②小林かなこ区議(自由民主党, 自宅[集]) - 不在
- ③関けんいち区議(公明党, 自宅[戸]) - 不在
- ④河野陽子区議(自由民主党, 自宅[集]) - 不在
- ⑤佐藤昇区議(自由民主党, "佐藤酒店") - 不在(店番の母親による不適切行為により報復措置発動)
- ⑥いいじま和代区議(公明党, 自宅[集]) - 不在
- ⑦石川恭子区議(日本共産党, 自宅[戸]) - 不在
- ⑧そうだ次郎区議(自由民主党, 自宅[戸]) - 不在
- ⑨川原のぶあき区議(公明党, 自宅[集]) - 居留守確定
- ⑩おのせ康裕区議(自由民主党, 自宅[集]) - 号室不明
- ⑪白川愛区議(無会派[自由を守る会], 自宅[集]) - 凸不可
- ⑫鴨志田リエ区議(フォーラム目黒[無所属], 自宅[戸]) - 時間帯を理由に書面での質問要求
- ⑬いその弘三区議(自由民主党, 自宅[集]) - 不在

◆人名表記について◆

- ・目黒区議会関係者に複数の同姓がいる人物は、下の名前で表記する。(例：青木英太区議⇒英太区議)

◆訪問結果◆

□青木英太区議(新風めぐろ[無所属])

- ・訪問時刻：13時48分
- ・事務所の種類：自宅(一戸建て) 兼 学習塾「青木英語塾」
- ・結果：不在(叔父が出現)

●内容

・昨日同様、英太区議の叔父にあたる高齢男性・青木 [REDACTED] 氏が現れ、「英太は今日は来ない」と話してきた。 [REDACTED] 氏は本職に対し、「またここに来るのか」「どういう活動をしているのか」といったことを聞いてきた。本職は先を急いでいたのと、 [REDACTED] 氏が昨日同様の対応をしていたため、本職はこれに対応していることは生産性に書けると判断し、「広報に行ってください」と2回程度話ただけでそのまま立ち去った。

□小林かなこ区議(自由民主党)

- ・訪問時刻：14時01分
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)

・結果：不在

●内容

・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収。

□関けんいち区議(公明党)

・訪問時刻：14時30分

・事務所の種類：自宅(一戸建て)

・結果：不在

●内容

・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収。

・車置き場から車がなくなっていた。

□河野陽子区議(自由民主党)

・訪問時刻：14時43分

・事務所の種類：自宅(集合住宅)

・結果：不在

●内容

・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収。

・昨日の訪問時点で同自宅前に置かれていた、置き配された封筒が、そのままになっていた。

・ [redacted]。([redacted] 一等による報告)

□佐藤昇区議(自由民主党)

・訪問時刻：15時16分

・事務所の種類：酒専門店「佐藤酒店」

・結果：不在(店番の母親による不適切行為により報復措置発動)

●内容

・店番を行っていた昇区議の母親に対し、佐藤区議がいるのかどうか尋ねると、同氏は「昼間っからいるわけ無いでしょ?」とキレ気味かつ高圧的に返答してきた。また、本職らが同店を出た後、同女性は同店から出てきて、本職らを睨みつけるような目で見たり、本職らを撮影したりしてきた。

・ [redacted]、 [redacted]、 [redacted] [redacted]。

・ [redacted]、 [redacted]、 [redacted]、 [redacted] [redacted] [redacted]、 [redacted]、 [redacted] [redacted]。

・ [redacted]、 [redacted]、 [redacted]、 [redacted] [redacted]。

□いいじま和代区議(公明党)

- ・ 訪問時刻：15 時 42 分
- ・ 自宅の種類：自宅(集合住宅)
- ・ 結果：不在

●内容

- ・ マンションのエントランスのインターホンを 2 度押したが不在。

、
。

□石川恭子区議(日本共産党)

- ・ 訪問時刻：16 時 26 分
- ・ 自宅の種類：自宅(一戸建て)
- ・ 結果：不在

●内容

・ 家族の高年男性が出てきて、石川区議は現在区役所におり、石川区議は携帯電話を家に置いてきてしまったため連絡が取れない旨話してきた。

□そうだ次郎区議(自由民主党)

- ・ 訪問時刻：17 時 53 分
- ・ 自宅の種類：自宅(一戸建て)
- ・ 結果：不在

●内容

・ 高年女性の声がインターホンから聞こえてきた。同女性は「名刺はあるか」と聞いてきたため、本職は「名刺はないが活動員 ID カードならある」と返答した。また、同女性は「用件は何か」と聞いてきたため、本職は「用件を本人以外に話すのは上席の許可が必要」と返答した。。

・ 同女性は本職をいたずら目的で来ていると考えているようにも思ったため、本職は 2 回にわたって「上席の許可が必要」「上席に確認する」という語句を使い、この訪問行為が組織的に行われているものであることを強調した。

□川原のぶあき区議(公明党)

- ・ 訪問時刻：18 時 17 分
- ・ 自宅の種類：自宅(集合住宅)
- ・ 結果：居留守確定

●内容

・ 2 回目にインターホンを押した際、インターホンが切られていた。このため本職は、川原区議は意図的に居留守を使ったと判断した。

□おのせ康裕区議(自由民主党)

- ・ 訪問時刻：18 時 30 分
- ・ 自宅の種類：自宅(集合住宅)
- ・ 結果：号室不明

●内容

・ 集合住宅「シャーマンズラウレア」と同一のものであるが、おのせ区議は部屋番号を公表しておらず、同集合住宅にもポストと玄関に小野瀬区議の名前が書かれた部屋はなかった。このため、本職は各部屋のインターホンを押し、やや丁寧な言い方で、ここが小野瀬区議の住所ではないのかと質問したが、いずれの部屋も返答することがなかった。

□白川愛区議(無会派[自由を守る会])

- ・ 訪問時刻：19 時 05 分
- ・ 自宅の種類：不動産店または自宅(集合住宅)
- ・ 結果：凸不可

●内容

- ・ いずれも閉まっており、入ることができなかった。

□鴨志田リエ区議(フォーラム目黒[無所属])

- ・ 訪問時刻：19 時 59 分
- ・ 自宅の種類：自宅(一戸建て)
- ・ 結果：時間帯を理由に書面での質問要求

●内容

・ 鴨志田区議は、インターホン越しに出てきて用件を聞いてきた。本職が「我々日本自治委員会が、目黒区議会内において革マル派ではないかという根も葉もないうわさが広がっているという。どの区議がうわさを広めているのか調査している」と説明すると、同女性は「日本自治委員会」「革マル派」という単語を知らないと話してきた。(単に無知なのか知らないふりをしているのかは不明)

・ 本職は鴨志田区議に対し、「5 分 10 分だけでも外に出て事情を聞かせてくれないか」と聞いたものの、「夜なのでちょっと。こんな時間に来るのはマナーとしてどうかと思う」「質問があれば書面にまとめてポストに入れてくれ」と話してきた。

□いその弘三区議(自由民主党)

- ・ 訪問時刻：20 時 08 分
- ・ 自宅の種類：自宅(集合住宅)
- ・ 結果：不在

●内容

・ いその区議の妻が出てきて、いその区議は外出中であると話してきた。
・ 表札には「磯野」の他に「■■■■」という名前が書かれていたが、「■■■■」はこの妻の本名ないしは旧姓ではないようだ。

◆概要◆

偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。

◆訪問した区議および結果◆

- ①田島けんじ区議(自由民主党, 自宅[集])
- ②山宮きよたか区議(公明党, 自宅[集])
- ③松嶋祐一郎区議(日本共産党, 事務所)
- ④松田哲也区議(日本維新の会, 自宅[集])
- ⑤梅田まさみ区議(フォーラム目黒, 事業所・商店)
- ⑥吉野正人区議(公明党, 自宅[戸])
- ⑦宮澤宏之区議(自由民主党, 自宅[戸])
- ⑧西村ちほ区議(自由民主党, 事業所・商店)
- ⑨川端しんじ区議(NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で, 自宅[集])

◆訪問結果◆

□田島けんじ区議(自由民主党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：13 時 13 分
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在

●内容

・サンコート平町 101 号室の表札には、田島けんじと書かれていたが、現在 101 号室は使用されていないようであった。

- ・チャイムを押しても音は鳴らず、チャイムの電源は切れている様子であった。
- ・101 号室のポストには養生テープが貼られていた。
- ・ガスメーターは、0 m³(小数点以下省略)と表示されており、ガスは使用されていない様子であった。

□山宮きよたか区議(公明党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：13 時 41 分
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤回。

□松嶋祐一郎区議(日本共産党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：14 時 29 分
- ・事務所の種類：事務所

- ・結果：不在

●内容

- ・事務員(老年女性)1 名が事務所にいた。同事務員によると、松嶋区議は不在とのことだった。同事務員は気の抜けた反応であり、動きを見てもやる気がなさそうであった。

□松田哲也区議(日本維新の会, 自宅[集])

- ・訪問時刻：15 時 14 分
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤収。

□梅田まさみ区議(フォーラム目黒, 自宅[集])

- ・訪問時刻：15 時 45 分
- ・事務所の種類：事業所・商店[アサヒ薬局]
- ・結果：不在(居住実態のないことが判明)

●内容

- ・■■■■一等が「昨日調べた情報では、梅田区議の事務所はヒルズ柿の木坂ではなく、隣の薬局であった」と話してきた。
- ・本職はこの情報を採用し、アサヒ薬局脇にあるインターホンを押したところ、男性（後に梅田区議の父親と判明）が応対したが、高齢のため非常に呂律が回っておらず、発言内容を理解することができなかった（本職が、応対したのが外国人だと思ったレベルである）。
- ・しばらくして、梅田区議の両親(どちらも外見年齢 90 歳前後)が出てきた。梅田区議の母親は訪問の理由を聞いてきたものの、警戒した様子はあまりなく、本職が「組織として全ての目黒区議を回っている」と話したところおおむね納得していた様子であった。しかし、梅田区議の父親は終始警戒した様子であった。（呂律が回っておらず発言内容が聞き取れなかったこともあり、本職は父親と直接やりとりしていない）
- ・梅田区議の母が話していた内容は次の通り。
 - ・梅田区議は最近ここに来ておらず、現行の居住地や事務所は不明。都立大学駅の方、中根に住んでいると聞いている。
 - ・閉業したアサヒ薬局の跡地を事務所として使用していたことはあったが、現在すでにその機能はない。

□吉野正人区議(公明党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：16 時 38 分
- ・事務所の種類：自宅(一戸建て)
- ・結果：不在

●内容

- ・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収。

□宮澤宏行区議(自由民主党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：16時57分
- ・事務所の種類：自宅(一戸建て)
- ・結果：不在

●内容

- ・家の中から何かの物音が聞こえたが、2度インターホンを押しても不通だったため、撤収。

□西村ちほ区議(自由民主党, 自宅[集])

- ・訪問時刻：17時09分
- ・事務所の種類：事業所・商店[栗山不動産企画]
- ・結果：不在

●内容

- ・17:09 栗山不動産企画に唯一いた中年女性事務員が出てきた。

・同事務員が本職に対し、「西村区議は今いない」と話してきたため、本職は「用件を本人以外に伝えるには上席の許可が必要。我々はもう帰りますが、また来ます」と説明した。

・これに対し、同事務員は「用件があれば文書にしてくれないか」と要求してきた。本職は「そのような用件の伝達方法に係る交渉は本人とのみ行う」と返答したが、同事務員は納得せず、「交渉も何も、突然ここに来られても対応できないし困る」と返答してきた。

・また、同事務員は本職らが録音や撮影を行っていないかということを中心に気しており、録音していないかどうかを本職に何度も聞いてきたほか、■■■■一等が携帯電話を触っている様子を執拗にじろじろ見て(但し画面までは覗いていない)、繰り返し「撮影していないか」と聞いてきた。(■■■■一等はメモを行っていたのみであり、撮影は行っていない)

・これに対し、本職は「我々はもう帰りますがまた来ます」と伝え、撤収しようとしたが、当該は我々を疑った目で見続け、引き止めようとした。(しかし特段話したいことがある感じでもなかった)。

- ・その後、■■■■一等が栗山不動産企画の外観を敷地外から撮影した際も、当該は我々を監視していた。

□川端しんじ区議(NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で, 自宅[集])

- ・訪問時刻：17時32分
- ・自宅の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在

●内容

- ・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収。但し何かの物音が聞こえた。また、ベランダに洗濯物は干されていなかった。

◆その他出来事◆

・ [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]。 [REDACTED]。
・ [REDACTED]。
・ [REDACTED]。
→ [REDACTED]
・ [REDACTED] [REDACTED]。
・ [REDACTED]
[REDACTED]。

[REDACTED]
・ [REDACTED]。
・ [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

◆概要◆

偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。
不在又は回答を得ることができなかった区議に関しては、質問文「21 外東所第 1 号」の投函を行った。

◆訪問した区議および結果◆

①青木英太区議(新風めぐろ, 事業所・商店)

②小林かなこ区議(自由民主党, 自宅[集])

※西崎つばさ都議

③関けんいち区議(公明党, 自宅[戸])

④河野陽子区議(自由民主党, 自宅[集])

❌ ここでスコールが降ったため中断

⑤佐藤昇区議(自由民主党, 事業所・商店)

⑥いいじま和代区議(公明党, 自宅[集])

⑦佐藤ゆたか区議(公明党, 自宅[集])

◆訪問結果◆

□青木英太区議(新風めぐろ)

- ・時刻：7 時 36 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：事業所・商店[青木英語塾]
- ・結果：家族応対(投函)

●内容

- ・青木 [REDACTED] 氏(英太区議の叔父)が出てきて、「英太区議はここ 2 日来ていない」と伝えてきた。
- ・これを受け、本職は [REDACTED] 氏に対し、「質問状を投函するので英太区議に伝えてほしい」と伝え、ポストに質問状を投函した。
- ・投函の際、本職は [REDACTED] 氏に対し、当該ポストが現在使われているか確認した（青木家のポストが古びていたため）。[REDACTED] 氏によると、使われているとのことだったため、本職は同ポストに質問状を投函した。

□小林かなこ区議(自由民主党)

- ・時刻：7 時 54 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：家族応対(投函)

●内容

・小林区議の夫(中年男性)が出てきて、「妻は仕事に出ている」旨伝えてきた。これを受け、本職は同夫に対して「質問状を投函するので伝えてほしい」と伝え、ポストに質問状を投函し撤収した。

□西崎つばさ都議

- ・時刻：8 時 07 分
- ・形態：[REDACTED]
- ・事務所の種類：自宅(一戸建て)

●内容

- ・[REDACTED]、[REDACTED]。

□関けんいち区議(公明党)

- ・時刻：8 時 19 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：自宅(一戸建て)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。

□河野陽子区議(自由民主党)

- ・時刻：8 時 36 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。

□佐藤昇区議(自由民主党)

- ・時刻：10 時 24 分
- ・形態：質問状の投函
- ・事務所の種類：事業所・商店[佐藤商店]
- ・結果：投函のみ

●内容

・当該酒店は、店主の佐藤[REDACTED]氏（昇区議の母）が先日敵対的な態度を取ってきたため、訪問したところでリスクがあっても成果はないと判断した。このため、本職は訪問はせず、質問状を投函するだけにとどめたものの、[REDACTED]氏に対し、ポストを投函した旨を大声で伝えた。[REDACTED]氏の目つきは正常ではなく、呆気にとられた様子と警戒している様子が混じった感覚でこちらを見ているだけだった。

□いいじま和代区議(公明党)

- ・時刻：10 時 36 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。

□佐藤ゆたか区議(公明党)

- ・時刻：11 時 27 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。

◆概要◆

偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。
不在又は回答を得ることができなかった区議に関しては、質問文「21 外東所第 1 号」の投函を行った。

◆訪問した区議および結果◆

- ①鈴木まさし区議(自由民主党, 事業所・商店)
- ②斉藤優子区議(日本共産党, 事務所)
- ③いその弘三区議(公明党, 自宅[集])
- ④白川愛区議(自由を守る会, 事務所)
- ⑤川原のぶあき区議(公明党, 自宅[集])
- ⑥そうだ次郎区議(自由民主党, 自宅[戸])
- ⑦石川恭子区議(日本共産党, 自宅[戸])

◆訪問結果◆

□鈴木まさし区議(自由民主党)

- ・時刻：9 時 04 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：事業所・商店[市沢不動産]
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・事業所に誰もいなかったため、ポストに質問状を投函し、撤収した。

□斉藤優子区議(日本共産党)

- ・時刻：10 時 06 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：事務所
- ・結果：休業(投函)

●内容

- ・事務所のシャッターは開いていたが、事務所は閉まっており誰もいなかったため、本職はポストに質問状を投函し、撤収した。
- ・事務所裏口の表札は森美彦元区議の名義になっていた。(斉藤優子事務所は、森美彦事務所の転用である)

□いその弘三区議(自由民主党)

- ・時刻：11 時 27 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し

- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：トラブル発生(受け渡し)

●内容

個別に別途報告書を作成した。

□白川愛区議(自由を守る会)

- ・時刻：14 時 24 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：事務所
- ・結果：事務員対応(受け渡し)

●内容

・事務所には、事務員と思われる[]氏(高年男性)のみがいた。本職は[]氏に質問状を受け渡し、白川区議に見せるように依頼した。

□川原のぶあき区議(公明党)

- ・時刻：15 時 15 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。
- ・インターホン押し及び声掛けは[]一等に行わせた。

□そうだ次郎区議(自由民主党)

- ・時刻：16 時 48 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：自宅(一戸建て)
- ・結果：投函のみ

●内容

・前回トラブルになったため、質問状をポストに投函するのみとした。

・質問状投函後、本職はインターホンを押し、質問状を投函した旨伝えた。そうだ区議の妻がこれに対応し、「ありがとうございます。わざわざ遠いところから…」などと前回の訪問時とはだいぶ変わった温かな話し方で接してきた。しかしそうだ区議の妻は耳が遠いようだった。

□石川恭子区議(日本共産党)

- ・時刻：16 時 56 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：自宅(一戸建て)

・結果：家族対応(投函)

●内容

・1 度インターホンを押したが、返答がなかった。

・1 分後、石川区議の家族と思われる老年男性が帰宅してきたため、本職が話しかけたところ、同男性は「すみません今忙しいんで」と返答してきたため、[REDACTED] 副長は同男性に対し「質問状をポストに入れますので、先生にお伝えください」と伝えた。

#report 21.08. 10 自民党・いその弘三区議による不適切な言動について

ID: [REDACTED] **【承認】**

◆概要◆

本日執行した目黒区議訪問において、いその区議の自宅兼事務所(集合住宅)を訪問した際、同区議と妻が隊員らに対し、高圧的かつ公人として不適切な言動を繰り返した。

彼らは自室の前でこれを行うばかりか、隊員がマンションを退去して公道上に出た後にこれを捕まえ、同様の言動を延々と行った。

◆情報◆

- ・日時：2021 年 8 月 10 日(火) 11:27～11:45
- ・場所：上目黒小川坂ハイツ 205 号室前（いその区議の自宅兼事務所） 及び 同集合住宅前の公道上
- ・当方：[REDACTED] 副長、[REDACTED] 一等隊員
- ・相手方：目黒区議会議員・いその弘三(自由民主党)、同区議の妻(中年女性)

◆詳細◆

□経緯

本日、隊員は運用課が通達した目黒区議訪問を順次執行しており、その一環で自民党・いその区議の自宅兼事務所「上目黒小川坂ハイツ 205 号室」を訪問した。同集合住宅は多数の棟からなる大規模マンションである。

なお、いその区議の訪問にあたっては、[REDACTED] 一等がインターホン押しとその際の挨拶を行った（本職の指示による）。これは前回の訪問において、娘と見られる若い女性が我々を警戒していたため、[REDACTED] 一等だと警戒が薄まるだろうと考えたことが理由である。

□事案発生

[REDACTED] 一等がインターホンを押した約 1 分後、いその区議（以降「いその」という）と妻の中年女性（以降「妻」という）が出てきた。（以降、区議と妻を包括して「磯野夫妻」という）いそのは出てきた際、露骨に不満そうな口調と表現であった。

いそのは本職が携帯電話を触っているのを見て、「何をしているのか」と聞いてきた。これに対し、本職は「上席と連絡をとっている」と返答したところ、いそのは「じゃあ上席との話が終わるまで我々は帰ります」と聞いてきた。

その後、いそのは隊員に対し、高圧的(剣幕混じり)な口調で、隊員の「態度」について苦情を延々と述べた。（この際、本職が伝えたことの一つとして、「芋川先生など、それでも答えていた区議はある」というのがある）

いそのは隊員に対し、「常識が一」と連呼していたが、そのいそのの言動は「公人と区民」という立場の違いを全く理解していないばかりか、自分の高圧的言動を棚に上げて隊員の態度を糾弾するという常識に欠けるものであった。

最終的に、本職が■■■一等に対し、いそのを撮影することを指示すると、磯野夫妻は隊員に対し退去を命令し、すぐに宅内に帰っていった。

これを受け、隊員はポスト投函含めた一切の行為を行わずにマンション敷地外に出た。■■■、■■■、■■■。

□敷地外退去後

敷地外退去後、隊員は■■■隊長に対し、「いその区議がふざけた態度をとった」等の短文報告を行い、抗議活動(■■■)の準備を進めていた。また、詳細報告は本職が抗議活動を行っている間、■■■一等に代行させる予定だった。

しかし、本職が抗議活動の準備を進めていた際、磯野夫妻がマンションから出てきて、隊員に近づいてきた。

磯野夫妻は隊員に話しかけ、先程同様の苦情を延々と述べてきた。

磯野夫妻は「常識的な態度で質問してくるなら」「文書で言ってくれるなら返答する」と話してきたため、本職はいそのに対し、東京事務所発出の質問文を手渡した。

本職が同質問文を手渡した後も磯野夫妻は苦情を継続し、しばらくした後「我々はこれから用事がありますから」と一方的に去っていった。

本職は、磯野夫妻がマンション内にいないのであれば抗議活動しても意味はないと判断し、そのまま抗議活動せずに■■■一等とともに撤収した。

◆磯野夫妻による抗議の内容◆

- ・(本職が階段の1段上に立っていたことについて)階段の1段上に立ちながら話すのは失礼だ。 ※■■■、■■■。
- ・訪問しておきながら携帯を触っているのは失礼だ。(明確に言ったかどうかは覚えていないが、明確にそのようなニュアンスの反応であったことは間違いない)
- ・アポも取らずにいきなり家に押しかけて来るなんて失礼だ。
- ・勝手に我々を撮影するな。

◎別紙

#report 21.08.10 いその区議とのやり取りの書き起こし ID:■■■

◆玄関前にて◆

■■■副長「こんにちは、日本自治委員会の※※※」

磯野区議「何やってるの」

■■■副長「今回ですね、目黒区議会…」

磯野区議「何やってるの」

磯野区議「え、何やってるのそれ(■■■副長がイヤホンを装着しているのを差し)」

■■■副長「上席と連絡を取っています」

磯野区議「上席って誰？」

副長「上席は上席です」

磯野区議「あんまりさあ、※※※、ちゃんとわかるように話さないで、だめだよ」

副長「いえあの」

磯野区議「だったら早く、誰、誰？」

副長「日本自治委員会のと申します、東京校民防衛隊、え、東京校民防衛隊副長です」

磯野妻「(本職に対し)ご一緒の方ですか？」

一等「あ、はい」

(ノイズ)

磯野妻「※※※上の方との連絡が終わってから、改めてお声をかけていただけますか？」

副長「いえ、あのー…話、用件はもう決まっていますので」

磯野妻「いえいえそれは※※※それを取っていただいて…」

磯野区議「なんで一方的に、こんなことばかり(?)言ってるの」

副長「ですから、」

磯野区議「ですからじゃないよ。」

磯野妻「(笑) やめて※※※」

磯野区議「(階段の上に立っていた副長を見て)あんたそんな上からもの言えるの」

磯野妻「※※※(弘三さん?)やめてください」

副長「上から、ぼ、僕は、な、一切…」

磯野区議「だいたいなんで階段から話してんだよ」

副長「物理的に上からだったんで降りましたけれど、僕ら上から目線では言ってないですよ」

磯野区議「今言っとるじゃねえかよ」

磯野妻「弘三さん(?)やめなさい、弘三さん。」

副長「おっ」

磯野区議「なんかさあ…」

副長「あんた目黒区…公人がそんなことやっていいんですか？」

磯野区議「何言ってるの？」

副長「公人。」

磯野区議「なにじゃあ、一般の人は、そんなに、※※※、来たり、※※※(話に?)来たり、していいの？」

副長「、撮れ。彼は公人だから肖像権が制限されている。」

副長「あなたの問題は極めて問題である。」

(撮影を行ったため音声が途中停止する)

磯野妻「こういった用件で、こういった用件で、伺ってます。磯野に話をさせてほしいというような、社会一般的な※※※でお話をさせて、※※※から、お話をまた、ご対応をさせていただきたいと思いますので、今日のところはどうぞお引き取りくださいませ」

副長「わかりました！」

◆マンションの門の前にて◆

磯野区議「話があって来たんでしょう？」

磯野妻「勝手に撮らない。撮るときには撮るという許可を得ましょう。」

磯野区議「別に撮っても…」

磯野妻「これは、社会としての常識です」

副長「(本職に対し)彼女は撮らないでください、彼は…」

(動画撮影が一旦途切れる)

副長「カメラに入った形にしてください」

一等「はい」

副長「彼は公人です。」

磯野妻「※※※、私、妻なので、はい。」

副長「いいですよ、じゃあ、かま、構わん。撮ってください。」

磯野妻「えっと、許可をあなたの口から、これから動画を撮影しますという許可を得てから」

副長「これから動画を撮影します」

磯野妻「撮る方から…」

副長「あなたに拒否権はありません」

一等「わたし」

磯野区議「あなたっていうのは失礼だよ」

一等「(小声)わたしの口から…」

磯野区議「なんでそんなさあ…」

副長「いや、私が上席だから私が言う。」

一等「あ、はい。」

磯野区議「なんなの?だいたい」

副長「え、質問、質問があってきました。目黒区議会議員の皆さんに質問してるんです私達。」

磯野区議「あーなるほど」

副長「芋川先生みたいにちゃんと質問に答えてくださった方もいました。」

磯野区議「あー別に、ちゃんと、これは、質問してくれば」

磯野妻「すみません。私これ写真撮っていいですか?おふたりの身分証についてお名刺いただけないのであれば、覚えることができないので、お写真撮らせていただけますか?」

副長「えーと内容のメモは認めますが」

磯野妻「ええ」

副長「複製防止のために写真撮影を認めることはできません」

磯野妻「かしこまりますじゃあメモを※※※(たっさい?と聞こえた)させていただきますね」

磯野区議「で、別に、質問をちゃんと、筋道通して、してくれば…ねえねえ君聞ってる?この話。」

磯野妻「私が今あの変なことしないか見てるんだと思うから待ってて」

磯野区議「だからちゃんと質問してくれば、ちゃんと答えるから」

副長「ええ、ですから」

磯野区議「だから筋道を、ちゃんと通しなさいってお話で」

磯野妻「自治委員会、さん、はい」

副長「筋道もくそもない」

磯野区議「いきなり、ピンポン押して、あんな階段の上からね、いきなり変なこと言い出してびっくりするじゃん」

副長「でもあなた目黒区議会の公式サイト見ましたけれど」

磯野区議「いや、それは議員とか関係ないよ。人間はびっくりしちゃうだろ、という話で。いきなりあんたさあ、ピンポン押して、ガーって言ったら、びっくりしたね。」

磯野妻「そうですねこれね(?)防衛※※※」

磯野区議「あなたが、あなたがそういうふうにおっしゃる、考えるということは把握しましたけれど僕個人の感想は特に、な、ないですし」

磯野妻「じゃあそこについてはもう言っても無駄だから」

磯野区議「ああ」

磯野妻「であの、芋川先生ってお話があったけれども、えーと」

副長「ああ他にも、あの、お答えしていただいた方がいいですよ」

磯野妻「であの、文書とかダメなんですか？」

副長「え、あの文書でしたら」

磯野妻「ええ」

副長「あの、じゃ文書でしたら今お渡ししますけれど」

磯野妻「あ、はい、じゃあそれについてきちっとあの、お答えさせていただくってことで、いかがでしょうかね？」

副長「では、お渡し…」

磯野妻「ちょっとごめんなさい、まだ控えてるのでいいですか？見せていただいて…」

副長「いいですよ」

磯野妻「ごめんなさいね、ちょっと私勉強不足でわからないその防衛局東京校民っていうのはどういうことなんですか？」

副長「日本自治委員会の、え一部隊でございまして、各地でチラシ…」

磯野妻「えーこれはあの、民間のってか民営のってかそういうものなんですか？」

副長「えーと、ではその、各」

磯野妻「ごめんなさいね」

副長「目黒区の各地の駅頭で、街宣活動を行っていた学生団体があるのはご存知ですか？」

磯野区議「知らない」

副長「えーと、その、他の方から聞いていただくのが一番いいんですけど、その団体ですね」

磯野妻「さんっていうんですね (一等の ID カードを見て)」

磯野区議「いや、どういう※※※？」

一等「(磯野妻に対し)はい」

副長「いや、あの一、まあ日本自治委員会で調べ、Twitter を見ていただければわかりますから何をやっているか」

磯野区議「いや、あのさ、あんまりそんな、余計なこと※※※時間はないんだよね、普段から」

磯野妻「※※※さん」

磯野区議「結構いろんな仕事を頼まれるから」

磯野妻「あ、でもまあ、※※※貰ったんでしょ」

磯野区議「まあ調べるけど」

磯野妻「これについてご返答させていただければよろしいんですかね？」

磯野区議「※※これが質問？」

副長「質問状です」

磯野妻「じゃあこれについて、」

磯野区議「答えればいいの？」

磯野妻「ご返答させていただければ※※※ますね」

副長「そうですね、はい」

磯野区議「いいよ全然それは」

磯野妻「はい、ではそのようにさせていただきますね」

磯野区議「ではわからないことはわからないでいいんでしょ？わかんない内容だったら、まだ読んでないけど」

副長「えー、この、質問に対する、回答については、とかつ(所轄?)が東京事務所、日本自治委員会東京事務所なんで、」

磯野妻「そこに問い合わせればいいのね？」

副長「そうですね」

磯野妻「わかりました」

副長「この、質問状に対する、質問についてはそちらまでお願いします、まあ組織でやってるので」

磯野妻「はい、じゃあそのようにさせていただきます、で、あの、こちらのマンションは、オートロックもないですし、管理人さんもいらっしゃるんですけれど」

副長「はい」

磯野妻「あの、他の方のご迷惑にもなるので、あの一、そういったことなんですよ」

磯野区議「だから、そういう話で」

磯野妻「あの、私達がね、例えば一軒家に住んでいて、あの一、という生活ではないので集合住宅でございまして、なるべくなら玄関先で、ああいったことは、あの一、控えたいんです私たちとしては」

副長「ではあの」

磯野妻「なので、あの今後はね？」

磯野区議「だからさ、君たちは※※い(赤い?)みたいだけれど、」

磯野妻「住所わかるっていうぐらいですから携帯電話もご存知だと思いますので、お電話いただくとか、あのそういったまず、ことをしていただきたいってお願いします」

磯野区議「社会一般の、常識を持ちながら、やらないと、びっくりしちゃったり、相手の、周りの人に迷惑かける場合があるじゃない」

磯野妻「そうすると皆さんの」

磯野区議「そういうこと言ってんだよ」

磯野妻「活動にも制限が生じてしまうと思いますので、あの一」

副長「組織でやってることなんで、」

磯野区議「いや、組織は関係ないよ」

磯野妻「だからそのように、えっと■■■さんの、上席の方に、磯野から、こういう風に言われたと、磯野の妻からも、こういう風な話があったっていうことを、まずご報告していただけますか？で、あの一、そういう話があったので、っていうことをまずご報告くださいよ、あの■■■さんが今ね、窓口で」

■■■副長「上席には、この、このことに関しては、あなた方の態度含めてご報告させていただきます」

磯野妻「もちろんですどうぞ」

磯野区議「すればいいじゃん」

磯野妻「で、私は、■■■さんとお名前を伺ったので■■■さんと申し上げました、ね、私たちは磯野だってことをお二人ご存知だと思いますので、」

■■■副長「はい」

磯野妻「まずは、えっと、言ってください。あの、あなたって言われることに対して、とても不快感を持たれたようです、と報告も、私たちの態度も含めて、上席にきちんとご報告くださいませ。」

■■■副長「報告させていただきます」

磯野区議「※※※」

磯野妻「これ(質問状)については、えっと、きちんと磯野が責任をもって、私今ここでお預かりしますバッグに入れますので」

■■■副長「はい」

磯野妻「えっと、きちんと、しかるべき回答を、後日改めて、させていただく、ということで、今日のところは、こちらの通りもありますので、どうぞお引き取りいただいてよろしいでしょうか？」

■■■副長「そうですね」

磯野妻「はい」

■■■副長「お引き取りいただきたいという、命令は、あの先ほどいただいた」

磯野区議「いや、命令じゃないよ」

磯野妻「命令じゃない、お願いします」

■■■副長「ですからまあ、」

磯野妻「※※※(お引き取り?)ください、というお願いします」

■■■副長「そういう要請は、あの法令上強制力があるものですから私は敷地外にでました」

磯野区議「いや」

磯野妻「なんですけど、今もこうやって車も通りますしね、」

磯野区議「見てるしみんな」

磯野妻「危ないので、で、私達も申し訳ありません、これからあの約束があって行かなきゃならないところがあるので」

磯野区議「そう」

磯野妻「今私達からお声かけましたけれども、今日のところはこれで、あのいったん終了ということでお願いします」

■■■副長「はいあの既に引き取っていますので」

磯野妻「はい、ごめんくださいませ、じゃあ行きましょう」

磯野区議「(数秒後)そんなさあ、喧嘩腰で話してるから、相手だって、そうびっくりしちゃうんじゃないの？っていう普通の話だよ。俺は別に普通にちゃんと筋通してくれれば、普通に答え、答えなんか質問あったら答えるよ」

副長「ご意見として承りました」

磯野妻「なのであの、ごめんなさい今、さんというお名前が残ってしまったので、あのファーストネームのお名前でごめんなさい(一等の ID カードを確認する)、はいさん」

副長「※※※」

一等「あ、はい」

磯野妻「それもきちんと上席の方に見せていただいて、こういう口調で、こういう顔つきで」

副長「彼女の直接の上席は僕なんで、僕経由で」

磯野妻「いや、だからこの動画をきちんと見せてくださいってことです。で、こういう顔で、こういう口調で、お話がありましたということをきちんと上席の方に、お名前存じ上げませんので上席とさせていただきますが、にご報告ください。よろしくお願いいたします」

副長「わかりました！えーとでは」

磯野妻「はいではごめんくださいませ」

磯野区議「はいはい」

副長「まあ撮影したものに関してはデータも含めて上席にあげさせていただきます」

磯野妻「で、あの一、私ども、これ撮影禁止ということで写真撮らせていただけませんでしたので、この動画についても、勝手に何かにアップするとかそういうことではないですよね？えとそれについてお約束いただけないのでしたらここで削除していただけないと、それはちょっと不公平ですから、そうですよね？だってこの身分証を、写真撮ることを複製がだめだから、って言われて今私メモ撮りましたお二人の名前も含めて」

磯野区議「だってさあ、それは公的な身分証じゃないでしょ？」

磯野妻「ね、だけど、これは」

磯野区議「だから、そういう話だよ。」

磯野妻「ご自分たちが勝手に撮ったものまあ録画しますって言われたから撮りました」

副長「ご意見として承りました」

磯野妻「※※※勝手に、あのアップしますっていうのは、これについては、申し訳ない、ありませんけれども、万が一されるようなことがあれば法的措置取りますから、よろしいんですね？」

副長「あの」

磯野妻「ていうか」

副長「法的な話に関しては広報戦略課まで言ってくださいよ」

磯野区議「いや、だから、法的とかそういう話じゃないよ」

磯野妻「えとじゃあ大変申し訳ないんですが、上席の方のお名前だけでも伺っていいですか？別にお電話しますどうこの話じゃないんですけれども、先ほどから上席上席って」

磯野区議「そうそう」

磯野妻「さんの上席はさんって伺ったんですが」

副長「上席への、直通電話を述べることはできませんので、」

磯野妻「ええ」

副長「日本自治委員会の広報戦略課というところに一元対応していますので」

磯野妻「広報戦略課によろ※※※わかりました」

磯野区議「※※※」

副長「そちらのメールアドレスなら、あの、教えることは普通にできるんですけども」

磯野妻「あのそうしましたら、事務局の、先ほど頂いたところにメールアドレスがありましたよね？」

副長「あ、あれと同じものなので」

磯野妻「で、あの、それで枝分かれていますから、じゃそのようにさせていただきますけれども、今わたくし申し上げました、勝手に動画をアップするようなことはなさないでください、しないでください」

副長「ご意見として承りました」

磯野妻「申し上げました、ではいきましょう※※(弘三?)さん」

磯野区議「はい」

◆概要◆

1. 偵察部長指示に従い、目黒区議会議員による不適切発言の真相究明のための区議一斉訪問を行った。不在又は回答を得ることができなかった区議に関しては、質問文「21 外東所第 1 号」の投函を行った。
2. 目黒区総合庁舎の目黒区議会に赴き、おのせ康裕区議に質問状を渡した。質問状は本人、田島けんじ区議、梅田まさみ区議宛のものである。

◆訪問した区議および結果◆

- ①川端しんじ区議(NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で, 自宅[集])
- ②西村ちほ区議(自由民主党, 事業所・商店)
- ③宮澤宏之区議(自由民主党, 自宅[戸])
- ④吉野正人区議(新風めぐろ, 自宅[戸])
- ⑤松嶋祐一郎区議(日本共産党, 事務所)
- ⑥松田哲也区議(日本維新の会, 自宅[集])
- ⑦山宮きよたか区議(公明党, 自宅[集])

◆訪問結果◆

□川端しんじ区議(NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で)

- ・時刻：8 時 24 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の投函
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2 度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。

□西村ちほ区議(自由民主党)

- ・時刻：8 時 43 分
- ・形態：質問状の投函
- ・事務所の種類：事業所・商店[栗山不動産企画]
- ・結果：休業(投函)

●内容

- ・事業所に誰もおらず、ドアも閉まっていたため投函した。

□宮澤宏之区議(自由民主党)

- ・時刻：9 時 07 分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：自宅(戸別訪問)

- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。

□吉野正人区議(新風めぐろ)

- ・時刻：9時33分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：自宅(戸別訪問)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。
- ・隣の家の高年女性はこちらを見てきたため、本職は同女性に対し「目黒区議会議員を訪問している」旨を説明した。

□松嶋祐一郎区議(日本共産党)

- ・時刻：11時13分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：事務所
- ・結果：休業(投函)

●内容

- ・事務所に誰もおらず、ドアも閉まっていたので投函。

□松田哲也区議(自由民主党)

- ・時刻：11時37分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・2度インターホンを押しても不通だったため、撤収して質問状を投函した。

□山宮きよたか区議(公明党)

- ・時刻：12時41分
- ・形態：戸別訪問による事情聴取 及び 質問状の受け渡し
- ・事務所の種類：自宅(集合住宅)
- ・結果：不在(投函)

●内容

- ・1度インターホンを押しても不通だったため、再びインターホンを押したところ、何度押しても通じなかったため、撤収して質問状を投函した。

◆目黒区議会訪問◆

部隊行動計画記載の目黒区議訪問が終わった後に時間が余ったため、部隊は目黒区総合庁舎 5 階の目黒区議会に行き、未処理の区議に対する質問状送付を行った。

□当初の考え

事務所に居住実態がなく訪問できなかった梅田まさみ区議(無会派)および田島けんじ区議(自由民主党)に対する事情聴取を目黒区総合庁舎内において行い、不在の場合は同会派の他区議ないしは事務局員経由で質問状を送付する考えであった。

おのせ康裕区議(自由民主党)に対しては、この時点では庁舎内において事情聴取や質問状の送付を行う考えはなく、お盆の帰省ラッシュに合わせて[REDACTED]事情聴取を行う考えであった。

□実際の結果

田島区議も梅田区議も不在であったため、本職は庁舎内にいたおのせ区議に対し、同区議本人、田島区議、梅田区議宛の質問状を一括で渡し、各区議に対して質問状を渡すように要求した。

おのせ区議に関しては、庁舎内において直接会話することができたため、もはや[REDACTED]は不要と判断し、そのまま質問状を送付した。

また、庁舎内に川原のぶあき区議(公明党)がいたため、本職は同区議に対し、ポストに質問状を送付した旨伝えた。

□時系列

・ 15:19 区議会事務局を訪れた。

・ 本職は事務局員に対し、「田島区議の住所を訪れたところ、居住実態がなかったようであった。同じ自民党会派の河野区議に田島区議宛の質問状を渡すので、それを田島区議宛に渡してもらうよう河野区議に伝えてもらいたい」と伝えた。これを受け、事務局員(中年女性)は自民党の控室を確認した後、本職に対し「河野区議はいなかったが、別の議員(おのせ区議)に聞いたところ、『田島区議は、お盆中であるため事務所を使っていないのだろう』と話していた。おのせ区議はミーティング中であり、今対応できない」と報告してきた。

・ 15:29 本職が別の事務局員に対し、「おのせ区議に質問状を渡したい」と伝えたところ、事務局員は本職に対し、「ミーティングが終わり次第質問状を渡す」と返答してきた。また、事務局員は本職の「ミーティングはいつ終わるか」という質問に対し、「どれくらいかかるかはわからない」と返答してきた。そのため、隊員はおのせ区議のミーティングが終了するまで、庁舎内で待機することとした。

・ 16:57 本職が事務局に行き、事務局員に対し「おのせ区議はいるか、同じ自民党の田島先生に対し質問状を渡してもらいたい」旨を伝えたところ、事務局員らはおのせ区議が庁舎内にいるかどうかを確認した。確認の結果、おのせ区議は自民党控室にいた様子であり、事務局員らは本職に対し「おのせ区議はこれからあなたたちと話ができますので」のようなことを伝えてきた。その後、おのせ区議は事務局まで来て、本職と直接会話を行った。

・本職がおのせ区議に対し、「目黒区議会議員の皆さんに質問状をお配りしている。自民党会派では、おのせ先生と田島区議に渡せていないため、今ここでおのせ先生が一括で受け取って、片方を田島区議にお渡しできないだろうか」と話したところ、おのせ区議はこれに応じて質問状を受け取った。

・この際、おのせ区議は「私は区議会議員として、梅田区議にも質問状を渡せる」旨話してきた。これを受け、本職はおのせ区議にこれを依頼しようとしたが、隊員は 2 枚しか質問状を用意していなかったため（田島区議と梅田区議に対してのもののみ用意していたため）、本職は庁舎付近のコンビニにおいて質問状を追加で 1 枚刷り、それから改めて区議会に赴き質問状を手渡そうと考えた。本職はこれをおのせ区議に伝えた。

・17:13 隊員は梅田区議分の質問状を印刷した。

・17:18 本職はおのせ区議に質問状を渡し、梅田区議に渡してもらうよう依頼した。

・おのせ区議は、「質問状を預かることはできるが、梅田区議はいつ来るかわからない」と述べた。

□区議との会話

区議会訪問に際し、川原区議およびおのせ区議と話をすることができた。会話の状況及び主な内容は次の通り。

●川原のぶあき区議(公明党)

・時刻：15 時 33 分

・会話の経緯：本職がおのせ区議が出てくるのを待機していた際、同区議が区議控室から出てきたため、ついでに話しかけた。この時、川原区議は嫌悪感を示した態度でぶっきらぼうに「トイレ行くから」と話し、そそくさとトイレに去っていった。これが癪に障った本職は、■■■■一等とともに区議会内の男性用トイレの外で狎犬のように待ち伏せすることとした。

その後、本職は川原区議がトイレから出てきた際に話しかけた。川原区議は少々本職らの話を受け答えしたが、そそくさと控室に帰ってしまった。

・主な発言：

・（本職が「質問事項に答えられないか」旨聞いた際、邪険に扱うような口調で）「後で」

⇒これに対し、本職は「ポストに質問状を投函したので返答してくれ」と返答。

・（質問状について）うちは会派で意見を統一しているため、会派として一つの回答を出す。

⇒本職が効いた感じ、答える気はあるような印象。

・KDF が川原区議の自宅に訪問してきた際に故意にインターホンを切った疑惑について、本職が嫌見たらしく聞いた際、この疑惑を否定していた。この否定発言の時、川原区議は特に何か隠したりごまかそうとしたりしている様子はなかった。

●おのせ康裕区議(自由民主党, 区議会議員)

・時刻：16 時 57 分

・会話の経緯：質問状を受け渡すため、事務局の担当者を経由して同区議を呼び出し、事務局室内において会話した。

・主な発言：

・質問状に対する回答の方針について、自民党会派内で協議した結果、自民党会派では幹事長の宮澤区議が会派を代表して回答する方針となった。

・（「アパートのどの部屋にも表札がなかったためどこに住んでいるか分からなかった」と本職が話した際）アパート？私と同じ住所は複数ある。

・田島区議は、お盆なので事務所の所在するアパートにいないのだろう。

・自民党の区議さんと揉めたりしなかった？事務所とはいえ自宅には家族も住んでいるし、そういったところにいきなり来られたら皆さんびっくりしてしまう。

・議長は中立な立場であるため、議長個人としての回答を述べることはできない。

□その他出来事

・14:38 本職は庁舎案内書の職員らに対し、「庁舎がそろそろ閉まると聞いたが、いつ閉まるのか」と質問した。これに対し職員らは、「閉まらない。お盆期間も庁舎は閉まらない。」と返答していた。

・15:36 及び 15:40 河野陽子区議が本職らのいる位置の横を通過していった。